

「くもんのSTEMナビ プログラミングシリーズ」全8巻(くもん出版)
石戸奈々子(CANVAS理事長)監修 2021年1月16日発売予定のお知らせ
(『プログラミング言語のいろいろ』のみ2020年12月19日先行発売!)

株式会社くもん出版より石戸奈々子(NPO法人CANVAS理事長)が監修を務める絵本「くもんのSTEMナビ プログラミングシリーズ」全8巻が21年1月16日に発売されます。全巻の発売に先立ち、『プログラミング言語のいろいろ』のみ2020年12月19日に先行発売となります。ぜひ貴社媒体を通じて、本書を広くお知らせいただきたく、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

本書の紹介



コマ割り絵本形式で、プログラミング&ITの基礎を楽しく伝えるシリーズ!

- 各巻のナビゲーターをつとめるキャラクターが、身近な例やたとえをまじえて紹介してくれるので、実際のプログラミングを学んだことがなくても、楽しく読めます。
- プログラミングやITの基本用語、基礎知識を網羅。調べ学習にも最適です!



21年1月16日予定 (『プログラミング言語のいろいろ』のみ2020年12月19日先行発売)

対象: 小学校高学年から

定価: 本体1500円+税

体裁: A4変型判、ハードカバー、32ページ、オールカラー

作 エコー・エリス・ゴンザレス

絵 グラハム・ロス

訳 山崎正浩

監修 石戸奈々子

お買い求めはお近くの書店またはネット書店にてご注文ください。

Amazon <https://amzn.to/2Wh7Fxx>

【シリーズ全8巻】

・アルと考える アルゴリズムってなんだ？ ISBN978-4-7743-3181-2

コンピューターになにをしてほしいか伝えるときに役立つ「アルゴリズム」について考えます。

・ゼロとワンが紹介 プログラミング言語のいろいろ ISBN978-4-7743-3182-9

プログラミング言語のはたらきや分類、代表的なプログラミング言語の特徴まで、やさしく紹介。

・バグと挑戦 デバッグの方法 ISBN978-4-7743-3183-6

プログラミングのまちがいを直す作業「デバッグ」について、読者と挑戦しながら学んでいきます。

・アンドとオアが伝える 論理演算の使いかた ISBN978-4-7743-3184-3

論理演算のしくみや、変数、条件、ループといった要素を使ったプログラミングを紹介します。

・フローが見せる 制御フローのはたらき ISBN978-4-7743-3185-0

コンピューターがプログラムを実行する順番を決める「制御フロー」のはたらきをお見せします。

・スタックが語る データ構造の大切さ ISBN978-4-7743-3186-7

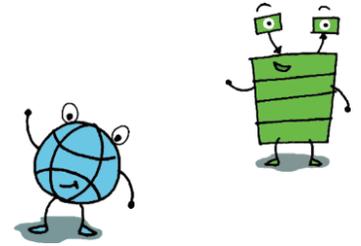
プログラムのデータを整理して保存する「データ構造」の大切さや、代表例の特徴がわかります。

・チップが案内 ハードウェアの役割 ISBN978-4-7743-3187-4

プログラムの命令を力を合わせて実行している、さまざまなハードウェアの仲間たちを紹介。

・ウェブと調べる インターネットのなりたち ISBN978-4-7743-3188-1

くらしにかかせないインターネットとは何か、どんなしくみに支えられているのかを調べます。



〔日本語版スタッフ紹介〕

訳／山崎正浩

1967年生まれ。慶應義塾大学卒。第一種情報処理技術者。京王電鉄株式会社でプログラマーとして勤務。2001年に退職し、

その後翻訳業に従事。訳書に『10才からはじめるプログラミング図鑑』『10才からはじめるScratchプログラミング図鑑』

『たのしくまなぶPythonプログラミング図鑑』『決定版コンピュータサイエンス図鑑』(いずれも創元社)などがある。

監修／石戸奈々子 (NPO法人CANVAS理事長、慶應義塾大学教授)

東京大学工学部卒業後、マサチューセッツ工科大学メディアラボ客員研究員を経て、NPO法人CANVAS、株式会社デジタルえほん、

一般社団法人超教育協会等を設立、代表に就任。総務省情報通信審議会委員、デジタル教科書教材協議会理事等を兼任。政策・メディア博士。

慶應義塾大学教授。著書に『子どもの創造カスイッチ！』(フィルムアート社)『プログラミング教育ってなに？親が知りたい45のギモン』(ジャムハウス)など。

<http://creativekids.jp/>

本件に関する一般及び報道機関からのお問い合わせ先

特定非営利活動法人CANVAS



CANVASはこどものための創造・表現の場を提供し、

豊かな発想を養う土壌を育てることを目標として設立されたNPOです。

これまで50万人のこどもたちにワークショップに参加いただきました。

こどもたちに新しい表現を生み出してほしい、新しい世の中を築いて

いてほしい。そんな願いを叶えるため、産官学さまざまなプレイヤーの

みなさまと連携しながら「未来をつくる」プロジェクトを生み出しています。

CANVASホームページ <http://www.canvas.ws>

問い合わせメールアドレス information@canvas.ws